

ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」に関する Q&A

2026 年 7 月作成

■ご利用にあたっての注意■

- 本 Q&A は、医療機関の先生方からよく寄せられる『ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」』に関する質問事項をとりまとめたものです。
- 記載している内容は、製品を適正に使用していただくための参考であり、医薬品の使用は、個々の患者さんの状況に応じて、専門的知識を有する医療従事者にご判断いただくことを想定しております。
- 当 Q&A に関することや、その他のご不明な点については、弊社の医薬品情報センター(TEL：0120-381-999)または担当 MR までお問い合わせください。
- なお、製品のご使用にあたっては、最新の電子添文もご確認いただきますようお願いいたします。

Q	ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」の 一包化 について
A	ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」 の一包化については、参考は無包装下の安定性をご案内しています。無包装下の安定性データは、以下のページに記載しております。 一包化については、データより医療機関の先生方のご判断のもとに行っていただきますようお願いいたします。 sawai medical site TOP ページ＞ 製品情報＞ 製品情報一覧＞ ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」＞ 添付資料ダウンロード＞ 無包装下安定性 [引用資料] ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」 電子添文 2025 年 3 月改訂（第 2 版） 《電子添文の内容》 20. 取扱い上の注意 20.1 アルミピロー開封後、光を避けて保存すること。本剤は光により変色することがある。変色したものは使用しないこと。 20.2 アルミピロー開封後、湿気を避けて保存すること。 ● 記載している内容は、製品を適正に使用していただくための参考であり、医薬品の使用は、個々の患者さんの状況に応じて、専門的知識を有する医療従事者にご判断いただくことを想定しております。 ● 当 Q&A に関することや、その他のご不明な点については、弊社の医薬品情報センター(TEL：0120-381-999)または担当 MR までお問い合わせください。 ● なお、製品のご使用にあたっては、最新の電子添文もご確認いただきますようお願いいたします。 [電子添文] ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」：https://med.sawai.co.jp/file/pr1_4608.pdf

Q	ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」の 食事の影響について
A	承認されている用法は、単純疱疹や帯状疱疹の場合は「1 日 3 回経口投与」、再発性の単純疱疹の場合は「2 回経口投与」であり、空腹時投与、食後投与の指定はございません。 参考として、食事の影響については、電子添文に以下のような記載があります。 [引用資料] ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」 電子添文 2025 年 3 月改訂（第 2 版） 《電子添文の内容》 16. 薬物動態 16.2 吸収 16.2.2 食事の影響 食事により血漿中ペンシクロビルの T_{max} は僅かに遅延し、C_{max} 及び AUC は僅かに減少したが、臨床上特に問題となる変化ではなかった¹⁴⁾。 14) 工藤忍他：薬理と治療, 1996 ; 24 (7) : 117-127 補足：ペンシクロビルはファムシクロビルの活性代謝物 ● 記載している内容は、製品を適正に使用していただくための参考であり、医薬品の使用は、個々の患者さんの状況に応じて、専門的知識を有する医療従事者にご判断いただくことを想定しております。 ● 当 Q&A に関することや、その他のご不明な点については、弊社の医薬品情報センター(TEL : 0120-381-999)または担当 MR までお問い合わせください。 ● なお、製品のご使用にあたっては、最新の電子添文もご確認いただきますようお願いいたします。 [電子添文] ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」 : https://med.sawai.co.jp/file/pr1_4608.pdf

Q	ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」の 腎機能障害患者への投与について																															
A	投与間隔をあけて減量するなど注意してください。腎クリアランスの低下に伴い、高い血中濃度が持続するおそれがあります。 腎機能に応じた減量の目安については、電子添文に下表のように記載があります。 血液透析患者には本剤 250mg を透析直後に投与してください。なお、次回透析前に追加投与は行いません。 [引用資料] ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」 電子添文 2025 年 3 月改訂（第 2 版） 《電子添文の内容》 7. 用法及び用量に関連する注意 〈効能共通〉 7.1 腎機能障害患者では投与間隔をあけて減量することが望ましい。腎機能に応じた本剤の投与量及び投与間隔の目安は下表のとおりである。 <table><tr><th colspan="5">腎機能に応じた本剤の減量の目安^{注)}</th></tr><tr><th></th><th>通常 用法・用量</th><th colspan="2">単純疱疹</th><th>带状疱疹</th></tr><tr><th></th><th></th><th>1回250mg 1日3回</th><th>1回1000mg を2回</th><th>1回500mg 1日3回</th></tr><tr><th rowspan="4">クレアチニン クリアランス (mL/分)</th><th>≥60</th><td rowspan="2">1回250mg 1日3回</td><td>1回1000mg を2回</td><td>1回500mg 1日3回</td></tr><tr><th>40-59</th><td>1回500mg を2回</td><td>1回500mg 1日2回</td></tr><tr><th>20-39</th><td>1回250mg 1日2回</td><td>500mg 単回</td><td>1回500mg 1日1回</td></tr><tr><th><20</th><td>1回250mg 1日1回</td><td>250mg 単回</td><td>1回250mg 1日1回</td></tr></table> 注)外国人における成績¹⁾をもとに設定した。 1) Boike, S. C. et al. : Clin. Pharmacol. Ther., 1994 ; 55 (4) : 418-426 7.2 血液透析患者には本剤 250mg を透析直後に投与する。なお、次回透析前に追加投与は行わない。 9. 特定の背景を有する患者に関する注意 9.2 腎機能障害患者 投与間隔をあけて減量するなど注意すること。腎クリアランスの低下に伴い、高い血中濃度が持続するおそれがある。 16. 薬物動態 16.6 特定の背景を有する患者 16.6.1 腎機能障害者 腎機能障害者にファムシクロビル 500mg を単回経口投与したとき、腎機能の低下に伴い、ペンシクロビルの	腎機能に応じた本剤の減量の目安 ^{注)}						通常 用法・用量	単純疱疹		带状疱疹			1回250mg 1日3回	1回1000mg を2回	1回500mg 1日3回	クレアチニン クリアランス (mL/分)	≥60	1回250mg 1日3回	1回1000mg を2回	1回500mg 1日3回	40-59	1回500mg を2回	1回500mg 1日2回	20-39	1回250mg 1日2回	500mg 単回	1回500mg 1日1回	<20	1回250mg 1日1回	250mg 単回	1回250mg 1日1回
腎機能に応じた本剤の減量の目安 ^{注)}																																
	通常 用法・用量	単純疱疹		带状疱疹																												
		1回250mg 1日3回	1回1000mg を2回	1回500mg 1日3回																												
クレアチニン クリアランス (mL/分)	≥60	1回250mg 1日3回	1回1000mg を2回	1回500mg 1日3回																												
	40-59		1回500mg を2回	1回500mg 1日2回																												
	20-39	1回250mg 1日2回	500mg 単回	1回500mg 1日1回																												
	<20	1回250mg 1日1回	250mg 単回	1回250mg 1日1回																												

$C_{\max}$ 及び AUC の増加、 $t_{1/2}$ の延長及び尿中排泄率の減少が観察された（表参照）。クレアチニンクリアランス値の低下に従いペンシクロビルの腎クリアランスは直線的な低下を示し、ペンシクロビルの消失は腎機能低下の程度により影響を受けることが確認された¹⁾（外国人データ）。

表 腎機能障害者にファムシクロビル500mgを単回経口投与したときのペンシクロビルの薬物速度論的パラメータ

		CLcr [†] (mL/min)	C _{max} (μg/mL)	T _{max} (hr)	t _{1/2} (hr)
健康成人 (n=9)		92±9	2.83±0.28	0.89±0.10	2.15±0.17
腎機能障害者 (n=6)	軽度 ^{注)}	70±6	3.26±0.31	0.79±0.08	2.47±0.21
	中等度 ^{注)}	43±6	4.45±0.64	1.38±0.29	3.87±0.50
	高度 ^{注)}	18±6	5.31±0.41	1.13±0.22	9.85±3.12

		AUC _{0-∞} (μg·hr/mL)	CLr (L/hr)	尿中排泄率 (0～24時間、投与量 に対する%)
健康成人 (n=9)		8.20±1.02	31.9±4.2	58.4±3.5
腎機能障害者 (n=6)	軽度 ^{注)}	8.76±0.82	27.3±2.7	58.0±3.3
	中等度 ^{注)}	26.08±7.62	10.8±2.2 [‡]	54.1±5.1 [‡]
	高度 ^{注)}	71.03±25.96	3.2±0.7	37.2±4.2

(平均値±標準誤差、†：平均値±標準偏差、‡：n=5)

注)軽度：60≤CLcr≤80mL/min、中等度：30≤CLcr≤59mL/min、

高度：5≤CLcr≤29mL/min

1) Boike, S. C. et al. : Clin. Pharmacol. Ther., 1994 ; 55 (4) : 418-426

補足：ペンシクロビルはファムシクロビルの活性代謝物

- 記載している内容は、製品を適正に使用していただくための参考であり、医薬品の使用は、個々の患者さんの状況に応じて、専門的知識を有する医療従事者にご判断いただくことを想定しております。
- 当 Q&A に関することや、その他のご不明な点については、弊社の医薬品情報センター(TEL : 0120-381-999)または担当 MR までお問い合わせください。
- なお、製品のご使用にあたっては、最新の電子添文もご確認いただきますようお願いいたします。

[電子添文]

ファムシクロビル錠 250mg「サワイ」: https://med.sawai.co.jp/file/pr1_4608.pdf